LGBT（エルジービーティ）について考える

多くの人は身体の性と心の性が一致していて、好きになる性は異性であります。
しかし、私たちの性は、生物学的な性別だけでなく、心の性、好きになる性、見た目の性など様々です。必ずしも、明確に分けることはできません。
また、性のあり方で悩んでいる人も多くいます。誰もが自分らしく生きることのできる社会をつくるためにも、多様な性について一緒に考えてみましょう。

ＬＧＢＴという言葉には、どのような意味があるのでしょうか。

ＬＧＢＴとはこれらの頭文字をとった言葉で、性的少数者を総称した言葉ですが、性は多様であり、ＬＧＢＴの４つに分けられるものではありません。

Lesbian レズビアン
同性を好きになる女性

Gay ゲイ
同性を好きになる男性

Bisexual バイセクシャル
男女両方の性を好きになる人

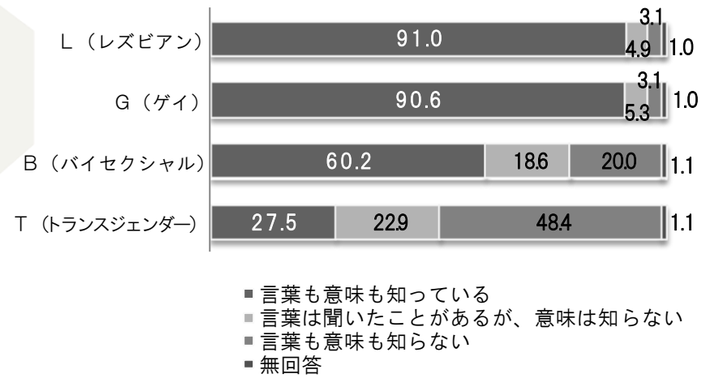
Transgender トランスジェンダー
からだの性（生まれたときの性）とこころの性（自覚している性）が異なる人

Q あなたは、LGBTの言葉を聞いたことがありますか？　また意味を知っていますか？

A ＬＧＢＴの認知状況は、レズビアンとゲイについては「聞いたことがある」と回答した人が９０％を超えています。また、バイセクシャルとトランスジェンダーについても「聞いたことがある」と回答した人は５０％を超えています。しかし、トランスジェンダーについては、「意味は知らない」と回答している人が７０％を超えています。

最近、新聞やテレビでよく耳にするようになりましたが、まだまだ認知されているとは言えない状況です。意味を知り、正しく理解することが私たちに求められています。

LGBTを正しく理解しないでいると偏見や固定概念から、学校でのいじめや仕事を解雇されるなど、その人の人権を侵害してしまうことにつながるね。

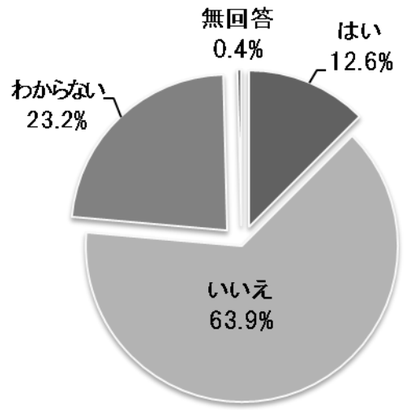


平成２９年度埼玉県県政世論調査

Q あなたのまわりに、ＬＧＢＴの方はいましたか？

A 身の回りにＬＧＢＴの方がいる人は12.5%。
単純に、埼玉県の人口は約732万人なので約92万人、宮代町の人口は約３万４千人なので約４千人がＬＧＢＴの方といえます。

LGBTの人は、人口の7．6%、約13人に1人の割合という調査結果があります。(2016年電通調べ)
私たちの身近にLGBTの方はいます。LGBTについての偏見や固定概念は捨てて、正しい知識と理解が私たちに求められています。

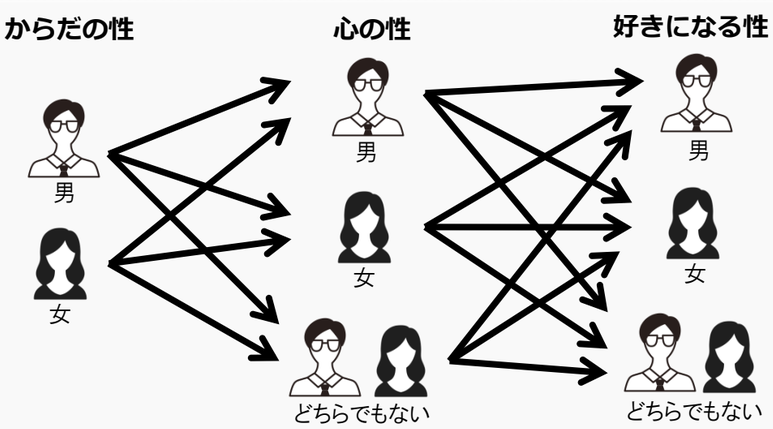


平成２９年度埼玉県県政世論調査

自分らしく生きるために・・・

性は、生まれたときの性別（性器で判別）だけでなく、自分がありたいと思う性や好きになる性など多様であり、明確な線引きはできません。
以下のイメージのようにたくさんあります。

イメージ



＊生まれたときに性別のいずれでもないという立場をとる人のことをX(エックス)ジェンダーといいます

このように、生まれたときの性別（性器で判別）だけが当たり前の「性」ではありません。
みんなそれぞれ違うので、その違いを認め、尊重することが大切です。

誰もが「自分らしさ」を大切に生きられる社会になるよう努めていくことが大切です！

宮代町の取り組み

宮代町では、町申請書・証明書等の性別(男女)欄について、法令で定められている等の特別な場合を除き、性別(男女)欄を廃止しています。

今後も引き続き、公文書等の性別(男女)欄の廃止に向けて取り組みます。

相談窓口

よりそいホットライン(24時間通話無料)
電話　0120-279-338
※音声ガイダンスの後、4番「性別や同性愛に関わる相談」を選んでください。
<<一般社団法人社会的包摂サポートセンター>>